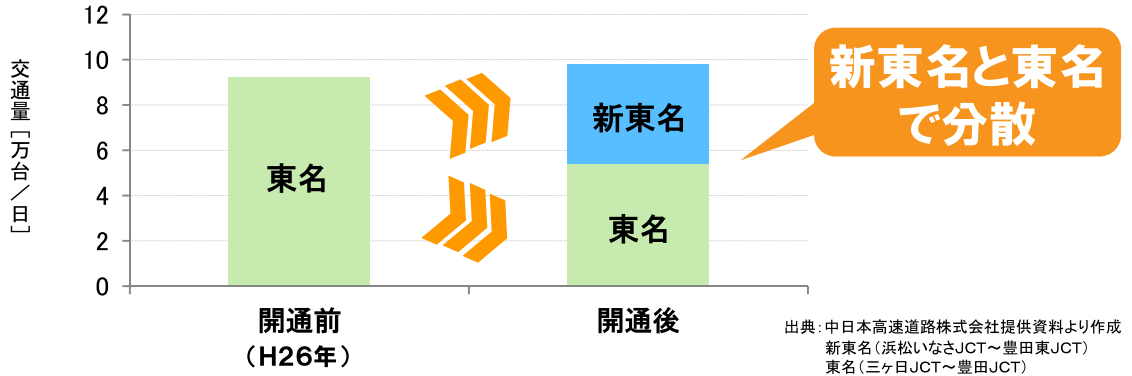


ダブルネットワークの形成により渋滞が緩和

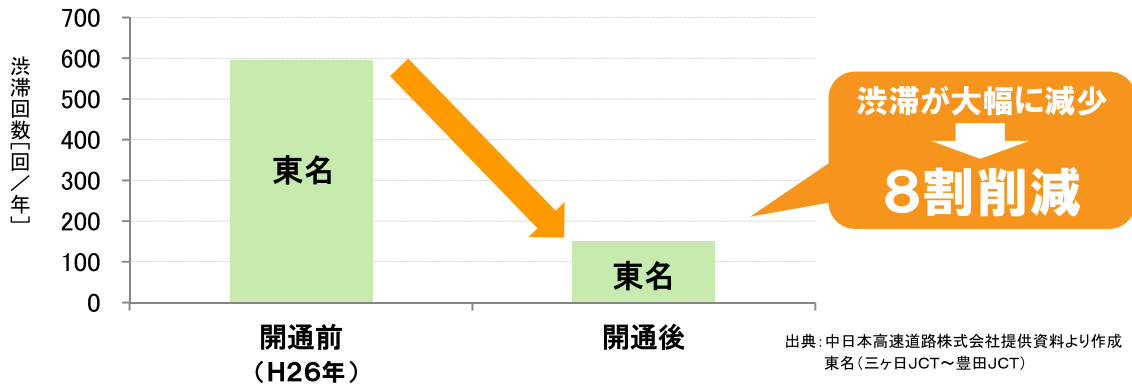
開通により東名高速道路の交通は分散、渋滞削減・所要時間短縮が期待！

- 新東名が開通することで、交通の分散が図られ、東名で年間 約600回発生している渋滞が大幅に減少します。
- 御殿場JCT～豊田JCTまでの所要時間は、最大約60分短縮します。

◆交通量の変化



◆交通集中による渋滞回数の変化



◆御殿場JCT～豊田JCTの所要時間の変化

[開通前]

東名利用
距離: 約215km
180分

交通が安定する秋期の走行速度にて算出
(平成22年道路交通センサス混雑時平均旅行速度)
※100kmの所要時間: 約80分

[開通後]

新東名利用
距離: 約205km
120分

指定最高速度にて算出
※100kmの所要時間: 約60分

約10km短縮
約60分短縮

東名利用
距離: 約215km
130分

指定最高速度にて算出
※100kmの所要時間: 約60分

渋滞解消により
約50分短縮